

## 印西大師 第1番 小倉・泉倉寺釈迦堂

1 名称 (No.001)〔手引鏡：泉倉寺釈迦堂〕〔資料館：泉倉寺釈迦堂〕〔行程表：泉倉寺〕

2 場所 印西市和泉971 泉倉寺 (せんそうじ)

千葉ニュータウン中央駅から道程約2,540m

木下駅から道程約4,930m

GPS座標 35.8189392833146, 140.1181718663812

3 由緒 天台宗 天龍山 泉倉寺

泉倉寺は、飢饉済民のため大同2年(807年)に慈雲山勝光寺延命院として本埜の地に開創されました。延命院は延喜17年(917年)に天龍山龍腹寺となりますが、永正4年(1507年)に小田原の北条氏によって焼き討ちされてしまいました。

その後、権大僧都興賢がこの地に来て中坊先蔵寺を再建しました。後に先蔵寺を和泉小倉の地名をとり、泉倉寺と改字しました。また、元禄5年(1692年)には上野東叡山寛永寺の直末寺になったと推測されますが、江戸幕府本末制度により印西地方の48ヶ寺の本寺でもありました。(印西名所図会)

4 御堂 大師堂の中に丸彫の御大師様が1体あり。造立年の銘文なし。

5 境内 昭和42年改築の本堂(本尊は阿弥陀如来)、大きな銀杏、印西七福神(毘沙門天)などがあります。いつ行っても清掃され、きれいになっています。平成6年寺院堂庵明細表によると釈迦堂は大正年代になくなったようです。

6 写真 (2019.06、2020.11、2023.01撮影)



大師堂



御大師様



御詠歌



新緑の泉倉寺



黄葉の泉倉寺



山号

7 情報

(1) 印西大師 第1番 泉倉寺 御詠歌 (泉倉寺本による)

霊山の釈迦の御前に巡り来て 萬(よろず)の罪も消え失せにけり

四国八十八ヶ所 第1番 高野山真言宗 竺和山(じくわざん) 一乗院 霊山寺(りょうぜんじ)

本尊 釈迦如来(徳島県鳴門市) 写し

## (2) 泉倉寺釈迦堂跡

地元の方にお聞きしたところ、昔は泉倉寺の敷地は南のほうまで広がっていて、釈迦堂は、泉倉寺の参道を南へ100mほど行ったところ、現在の「天龍山 泉倉寺墓趾」のところにあって、多くの参詣客で賑わっていたそうだとのことです。ふれあいバスの小倉バス停のところにある墓地です。印西大師第1番の札所は、現在は泉倉寺の本堂の前にあります。明治初期はここにあったということでしょうか。四国八十八ヶ所第1番霊山寺(りょうぜんじ)の御本尊は釈迦如来なので、その写しは本堂ではなく釈迦堂に置かれたということかと思います。



泉倉寺墓趾 (2024.04撮影)

泉倉寺は文久年間(1861~1864年)に火災により「庫裏一棟を存するのみ」といわれるほどの状況になってしまったので、そのときに釈迦堂も失ったのかもしれませんが。手引鏡が作成されたのが明治4年(1871年)なので、その数年前のできごとです。

2024.04一部修正